



こおりやまの市民活動(ボランティアやNPO)を応援する広報誌

あしすとぱあく

第52号—特集—

平成30年度郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」授賞式 (2P-3P)



写真は、受賞団体の福島県立郡山萌世高等学校の生徒さん (4P)

INDEX

2P	平成30年度郡山市市民活動推進顕彰事業 「まちづくりハーモニー賞」授賞式
4p	団体紹介 福島県立郡山萌世高等学校
5p	団体紹介 全国ギャンブル依存症家族の会 福島
6P	助成金情報、こおりやま市役所 de かふえ、編集後記

第52号

2019年3月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)



郡山市では、地域の特性や市民力を生かした創造性豊かな活動を行い、魅力と活力あるまちづくりに先導的または先進的な役割を果たしている皆さんを表彰する、「まちづくりハーモニー賞（郡山市市民活動顕彰事業）」を実施しています。平成31年2月5日に郡山市役所で受賞されました16団体を市役所に招き、表彰式を開催しました。

平成30年度受賞者
市民活動実践部門

- 一般社団法人 食大学
- ウエストハーモニー
- うねめ町安心パトロール
- 片平町区長等連絡協議会
- 久留米南川愛護会
- 郡山北地区交通安全協会多田野支部
- 郡山北地区交通安全協会富田支部
- こおりやま日本語教室
- 下亀田自治会三世代交流サロンプロジェクト
- 富田町第三区夏まつり実行委員会
- 福島県理容生活衛生同業組合 郡山支部 青年部
- 前田沢花ばたけの会



イベント部門
うたふく実行委員会

- 青少年部門**
- 郡山市立 熱海中学校
 - 郡山市立 郡山第五中学校
 - 福島県立郡山萌世高等学校



市民活動サポートセンター登録団体から、3 団体が表彰されました♪
おめでとうございます!

こおりやま日本語教室



日本語を母国語としない子どもへの日本語の学習支援、地域住民との相互理解を深めるための地域活動支援を行なっています。

福島県の「高校入学のためのガイドブック」作成の取り組みもすすめています。(5ヶ国語)



下亀田自治会三世代交流サロンプロジェクト



2025 年の高齢化社会への備えとして、「楽しく学び・楽しく遊ぶ」をコンセプトに、各世代のプロジェクトメンバーが企画・計画を

実施しています。自治会の会員が講師を務め、活躍の場を提供し、生きがい作りに貢献する活動となっています。

うたふく実行委員会



平成 23 年東日本大震災の年にアカペライベントを開催。年々、認知度が高まり、県内だけでなく、東北、関東、台湾で活躍するアカペラバンドも参加。第 8 回目となった昨年は、56 組ものアカペラバンドが駅前周辺に集う大イベントに成長し、まちづくりに寄与しています。



皆さんの活動も応募してみてもいいでしょうか？ 惜しくも不合格になった団体さんは、持続性・発展性を考慮し、活動に加えることで、新たな扉が開くことでしょうか。そして、再度チャレンジしてみましょう！
次ページには、青少年部門で受賞されました福島県立萌世高等学校の皆さんをご紹介します。

G 活動内容は、「まちづくりハーモニー賞」で検索し、郡山市の Web をご確認ください

いいね!!



平成 30 年度 郡山市市民活動推進顕彰「まちづくりハーモニー賞」青少年部門受賞団体

福島県立郡山萌世高等学校



読み聞かせボランティア活動♪



福島県立郡山萌世高等学校
主任学校司書 河野まきこさん（写真上 前列右）

平成 28 年の公開文化祭で実施した子ども向けのお話会をきっかけとして、地域の保育園 3 箇所にて、読み聞かせボランティア活動がはじまりました。

部員は、1・2年生 14 名の在籍があり、大型絵本（写真下段）や紙芝居、パネルシアターなどのツールを使用して、子ども達と触れ合います。

やりがいについて、「読み聞かせ時や終了後の子ども達の反応がとても可愛いので癒されます」と話すのは、3 年生の須藤寧々さん（写真右）。



須藤寧々さん（3年生）

子ども達との触れ合いに癒されます！

昨年からは、特別養護老人ホームや地域の高齢者向け交流サロン等にも活動の場が広がっており、訪問先からは、高校生との交流に「大きな刺激をいただいている」と感謝の声があがり、部員たちのやりがいやモチベーションの向上へと繋がっています。

生徒達は、定時制課程のため、アルバイトと学業の両立に取り組み、その上で、練習や校外でのこうした活動に一生懸命取り組んでいます。



大迫力の大型絵本！

全国ギャンブル依存症家族の会 福島



「家族の会」って?何をするんですか?

私たちは、全国ギャンブル依存症家族の会 福島として、昨年より活動をはじめました。すべてのメンバーが、家族のギャンブル依存症問題を経験されています。

活動内容としては、毎月第4土曜日開催の「家族の会」の開催によって、地域のギャンブル依存症問題で悩むご家族などに向けて、「入り口」としての役目。ギャンブル依存症解決方法（ご家族向け）のご案内や会員の学びや回復の場としての役割。ギャンブル依存症対策の啓発、適切な解決策の啓蒙活動の促進を図るために各種専門機関・行政等との連携を進めていこうと考えています。

ギャンブル依存症の自助グループによる活動は、県内各地域で行なわれています。活動の歴史は古く1989年にGA（ギャンブラーズ・アノニマス）が発足し、現在では、全国200グループ以上（福島県内7グループ）のグループが専門的な回復プログラムを実施しています。

2018年10月5日にギャンブル等依存症対策基本法が施行され、厚生労働省の障害福祉分野 - 依存症対策として分類、各事業は始まったばかりです。

本日の「家族の会」には、新規の方が2名参加下さいました。途中涙を流した方も最後は笑顔になり帰って行かれました。



全国ギャンブル依存症家族の会 福島
会長 服部 陽子 さん（前列左）

ギャンブル等依存症対策基本法

2018年7月6日、「ギャンブル等依存症対策基本法」が参院本会議で可決され、成立しています。ギャンブル等依存症が、本人と家族の生活に支障を及ぼし、「多重債務、貧困、虐待、自殺、犯罪等の重大な社会問題を生じさせている」ことも明記されています。厚生労働省が依存症対策を勧めていくこととなりました。



第 4 回市民活動交流サロン

「こおりやま市役所 de かふえ」を開催します。



2019 年

3 月 22 日 金

15:30 ~ 17:00

場所：郡山市役所本庁舎
食堂隣り

参加申込・お問合せは、郡山市市民活動サポートセンターまで。

問 アシストパーク郡山 電話：024 (924) 3352 メール：ap@utsukushima-npo.jp

助成金情報

年度末の募集ではありますが、通年（9月～）事業の助成もいくつかございます。

ボランティアグループ、NPO などの市民活動団体の助成金は、情報発信、公開や会則、規約又はそれに相当する文書を有し、適正な事業計画書、予算・決算書が整備されていることなどの条件が付与されることが増えて参りました。

応募の前にこうした資料が原因で不合格とならぬよう、市民活動サポートセンターへご相談下さい。

名称	募集期間	助成額、内容
2019 年度 ドコモ市民活動団体助成	2019 年 2 月 25 日 ～ 2019 年 3 月 31 日	1 団体 70 ～ 100 万円
2019 年度「緑と水の森林ファンド」公募事業	2019 年 2 月 15 日 ～ 2019 年 3 月 31 日	1 団体上限 100 万円
FunD（ファンド）福島の子ども支援プログラム	2019 年 3 月末	1 団体上限 200 万円

助成金情報は、郡山市市民活動サポートセンターのウェブサイトに掲載していますのでご利用ください。

編集後記



市民活動団体だけでは、取り組むことが難しい課題、企業だけでも解決が難しい課題が増えていきます。

自分にも何かできないだろうか考える人は、潜在的はたくさんいるのではないのでしょうか。そんな方々に情報が届き、市民の参加を促進できるようなサポートであるべく今年度は取り組んできました。次年度は更にバージョンアップし、サポートして参ります。(H.M)

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)住所：〒963-8601
福島県郡山市朝日一丁目23番7号
郡山市役所西庁舎3F電話/FAX：024(924)3352
ホームページ：http://assistparkkoriyama.net/
メールアドレス：ap@utsukushima-npo.jp
開館時間：8:30～17:15
休館日：土、日、(祝・祭日)運営委託：郡山市市民部市民・NPO 活動推進課
運営受託：NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク
住所：〒963-8835 福島県郡山市小原田2丁目19番19号
電話：024(953)6092 FAX：024(953)6093
ホームページ：http://utsukushima-npo.jp/